

# とこの議会だより

No.38

2014. 10

遠野郷八幡宮馬場にて6年ぶりに遠野まつりが披露された。市民の熱烈なふるさとへの思いが遠野の原風景を蘇よみがえらせた。この市民の底力こそ輝く未来への原動力となることを願う。

## 主な内容 9月定例会

- ◆9月定例会の概要..... 2
- ◆請願・議員発議について..... 3
- ◆意見書・定例会審議結果について..... 4
- ◆臨時会審議結果、議会の動き..... 5
- ◆市長への要望書提出..... 6
- ◆研修視察レポート..... 7~12
- ◆決算特別委員会質疑..... 13~15
- ◆市民の声コーナー..... 15
- ◆予算等審査特別委員会質疑..... 16~17
- ◆一般質問 8人が登壇..... 18~25
- ◆私のひとこと、編集後記..... 26





# 平成25年度決算 歳出総額271億円を認定 (一般会計総額は187億円)

## 9月定例会

平成26年9月定例会が、9月5日に招集され、19日までの15日間の会期で開かれました。  
今定例会では、一般質問には8人の議員が登壇し、市政を問いました。  
提案された平成25年度決算関係9件、平成26年度補正予算関係7件、条例の制定8件、その他2件の26議案の全議案を原案のとおり可決したほか、最終日には、補正予算の追加議案1件、議員発議による条例の制定1件、意見書4件を可決しました。

### 課題が残る放射能除染を議論

決算特別委員会では、事業の成果と決算不用額の要因などについて質疑され、6款農林水産業費において、放射能汚染ホダ木をチップ化し、野積み状態となっている現状の対策や牧草地の除染耕起不能地の取り扱いなどの農林水産業における放射能汚染対策について、質疑が交わされました。  
また、放射能汚染対策調査特別委員会が行ってきた調査内容について、委員長から最終報告がされました。  
①震災前と同様に良質な原木しいたけ生産を行うには、除染された汚染物の処理、更新ホダ木の再汚染防止など、除染後のホダ場の管理体制についての課題があること  
②汚染草地の除染については、除染箇所、面積の把握に曖昧な点が感じられ、県と市が一体となって取組む姿勢が必要であること  
③汚染後の農家を取り巻く環境の変化による農家支援、汚染牧草の焼却などの課題があること  
④国・県の政策に留まらず、市独自の支援、解決策が必要であること  
引き続き新たな議員で構成する特別委員会に更なる調査を切望すると報告がされました。

### 請願

◆請願第3号  
ふたたび被爆者をつくらないために「現行法」(原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律)改正を求める請願  
〈請願者〉 岩手県原爆被害者団体協議会 会長 伊藤 宣夫

### 採択

◆請願第4号  
少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2015年度政府予算に係る意見書採択の請願  
〈請願者〉 岩手県教職員組合花巻遠野支部 支部長 菊池利行ほか1名

### 採択

◆請願第5号  
「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」継続の請願  
〈請願者〉 岩手県教職員組合花巻遠野支部 支部長 菊池利行ほか1名

### 採択

◆請願第6号  
農業委員会・企業の農地所有・農協改革など、「農業改革」に関する請願  
〈請願者〉 遠野市農民組合 代表者 阿部 喜一

### 不採択

◆請願第7号  
政府による緊急の過剰米処理を求める請願  
〈請願者〉 遠野市農民組合 代表者 阿部 喜一

### 採択

◆請願第8号  
消費税増税の撤回を求める意見書提出を求める請願  
〈請願者〉 消費税廃止岩手県各界連絡会 代表 藤澤 光一

### 採択

◆請願第9号  
「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」の継続を求める意見書  
〈請願者〉 岩手県教職員組合花巻遠野支部 支部長 菊池利行ほか1名

### 議員発議

◆発議案第5号  
今定例会では、5件の議員発議案(条例案1件、意見書4件)が提出されました。このうち発議案第6号から第9号までの4件は、請願の採択を受けて提出されたものです。

◆発議案第5号  
議員定数を18人に削減したことに伴い、議会の常任委員会などの定数を変更しました。

### 採択

◆意見書  
国民経済は、年金等社会保障削減の影響も受け、更なる消費税増税は一層深刻な消費不況を招き、地域経済に計り知れない影響を与えることは必至である。政府は、「消費税は

### 採択

消費増税10%増税の中止を求める意見書  
◆発議案第6号  
消費増税10%増税の中止を求める意見書  
国民経済は、年金等社会保障削減の影響も受け、更なる消費税増税は一層深刻な消費不況を招き、地域経済に計り知れない影響を与えることは必至である。政府は、「消費税は

社会保障財源に充てる」としているが、不透明な部分があるため、このような現状を踏まえ、消費税10%増税の中止を求める。

### 反対討論

1千兆円を超える国債の残高や少子高齢化に伴う社会保障の財源増しを放置することは、対外的な国の信用の低下や国民の将来に対する不安感を増幅させる。消費税増税分は社会保障の充実を目的としており、次代を担う子どもたちに安心して将来を託すためにも、消費税増税を真正面から考えなければならぬ。

◆発議案第7号  
一人ひとりの子どもに対するきめ細かな対応や課題に対応できるように30人以下学級の推進をするとともに教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元することを求める。

◆発議案第8号  
「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」の継続を求める意見書  
本交付金は、東日本大震災で被災をし、経済的理由により就学等が困難な子どもを対象に、国による就学支援等を行っているもので

◆発議案第9号  
政府による緊急の過剰米処理を求める意見書  
平成26年産米の価格の大暴落が懸念される状況であることから、米の需給と価格の安定のため、国に緊急の過剰米処理を求める。

◆賛成討論  
国債残高は、消費税導入後も増えている。また、輸出企業に対しては、莫大な輸出戻し税があり、消費税を増額すれば税収が上がるというわけではない。一方では、消費税により消費者が大変な思いをしている以上に、中

◆賛成討論  
国債残高は、消費税導入後も増えている。また、輸出企業に対しては、莫大な輸出戻し税があり、消費税を増額すれば税収が上がるというわけではない。一方では、消費税により消費者が大変な思いをしている以上に、中



### 9月定例会議案審議結果

議案名	賛成	反対
議案第51号	平成25年度遠野市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第52号	平成25年度遠野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第53号	平成25年度遠野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第54号	平成25年度遠野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第55号	平成25年度遠野市ケーブルテレビ事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第56号	平成25年度遠野市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第57号	平成25年度遠野市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第58号	平成25年度遠野市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	全員賛成
議案第59号	平成25年度遠野市水道事業会計決算の認定について	認定
議案第60号	遠野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	全員賛成
議案第61号	遠野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	全員賛成
議案第62号	遠野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	全員賛成
議案第63号	遠野市民センター条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成
議案第64号	遠野市市有林造成基金条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成
議案第65号	遠野市ひとり親家庭医療費給付条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成
議案第66号	遠野市事業所設置奨励条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成
議案第67号	遠野市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成
議案第68号	遠野運動公園多目的運動広場改修工事の変更請負契約の締結について	全員賛成
議案第69号	財産の取得について	全員賛成
議案第70号	平成26年度遠野市一般会計補正予算(第4号)	全員賛成
議案第71号	平成26年度遠野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	全員賛成
議案第72号	平成26年度遠野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	全員賛成
議案第73号	平成26年度遠野市介護保険特別会計補正予算(第1号)	全員賛成
議案第74号	平成26年度遠野市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第1号)	全員賛成
議案第75号	平成26年度遠野市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	全員賛成
議案第76号	平成26年度遠野市水道事業会計補正予算(第1号)	全員賛成
議案第77号	平成26年度遠野市一般会計補正予算(第5号)	全員賛成
発議案第5号	遠野市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成
発議案第6号	消費税10%増税の中止を求める意見書の提出について	14   5
発議案第7号	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書の提出について	全員賛成
発議案第8号	「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」の継続を求める意見書の提出について	全員賛成
発議案第9号	政府による緊急の過剰米処理を求める意見書の提出について	全員賛成

### 賛否の公表

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
議員氏名	萩野 幸弘	瀧本 孝一	多田 勉	菊池由紀夫	佐々木大二郎	菊池巳喜男	照井 文雄	荒川 栄悦	菊池 征幸	瀧澤 大成	小松 孝之	織笠 邦夫	菊池 民彌	佐々木 誠一	多田 重幸	安部 達八	石橋 幸雄	浅沼 幸雄	
発議案第6号	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○
請願第6号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
請願第8号	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わりません。○は賛成、×は反対 ※全員賛成、または全員反対以外は、賛否の内訳を表記します。

## 臨時会

平成26年7月臨時会が7月8日に開催されました。

この臨時会では、「平成26年度遠野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)」の専決処分(第1号)の専決処分、「遠野市民センター(体育館棟)改修工事の請負契約の締結」[国体記念公園市民サッカー場A面改修工事の変更請負契約の締結]「平成26年度遠野市一般会計補正予算(第3号)」が議案となりました。

平成26年度一般会計補正予算(第3号)では、みらい創りカレッジ推進事業費に係る旧土淵中学校改修の内容と事業による地域の活性化について議論されました。

### 7月臨時会議案審議結果

議案名	結果	
議案第47号	平成26年度遠野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)の専決処分に関し承認を求めることについて	承認
議案第48号	遠野市民センター(体育館棟)改修工事の請負契約の締結について	承認
議案第49号	国体記念公園市民サッカー場A面改修工事の変更請負契約の締結について	承認
議案第50号	平成26年度遠野市一般会計補正予算(第3号)	全員賛成

### 議会の動き

7月	1日	2日	4日	7日	8日	9日	10日	11日	13日	16日	18日	19日
総務常任委員会行政視察(3日)(山口県秋市・周南市)島根県浜田市議会来遠	遠野市納税貯蓄組合連合会総会JAいわて花巻懇話会	国道340号整備促進期成同盟会総会大槌山田紫波線道路整備促進期成同盟会監査	広聴広報常任委員会大阪府岸和田市議会来遠	議会運営委員会議員全員協議会臨時会	教育民生常任委員会東京都小平市議会来遠	愛知県東海市議会来遠	栃木県矢板市議会来遠	北海道旭川市議会行政来遠	第64回社会を明るくする運動遠野地区大会	北海道釧路北部消防事務組合消防議会議事来遠	早池峯神社例祭第9回さわやかスポーツ大会	菊池恭二氏黄綬褒章受章祝賀会

### (7~9月)

8月	1日	2日	5日	7日	6日	7日	30日	29日	24日	27日	22日	12日	10日
平成26年度岩手県への統一要望光章受賞祝賀会	松田雅江様瑞宝単光章受賞祝賀会	平成26年度市民と議会との「春の懇談会」による要望書提出姉妹都市締結30周年を祝う会並びにサレルノ訪問団報告会	教育民生常任委員会放射能汚染対策調査特別委員会	神奈川県横浜市議会来遠	TKプロジェクトとびあひアガーデン」県選出国会議員等に対する実行運動柏木平リバーサイドまつり、遠野わらすこまつり及び全国やぶさめ競技第8回遠野大会	岩手県無形民俗文化財認定記念祝賀会	静岡県伊東市議会来遠	大阪府柏原市議会来遠	小松喜一氏第九師団長感謝状受賞を祝う会	新興会・清風会・緑風会3会派合同による国会議員への要望行動・行政視察(31日)	新潟県燕市議会来遠	長野県中野市議会来遠	平成26年度遠野市一般会計補正予算(第3号)の専決処分に関し承認を求めることについて





萩市役所に整備されている急速充電器

# 環境にやさしい 観光地づくりをめざして 総務常任委員会行政視察研修

〔視察日程〕  
7月1日～3日  
〔視察研修先〕  
山口県萩市  
山口県周南市

〔参加議員〕  
菊池民彌  
安部重幸  
浅沼幸雄  
菊池由紀夫  
瀧本孝一

◆萩市：環境にやさしい観光地づくり（電気自動車急速充電器整備）について

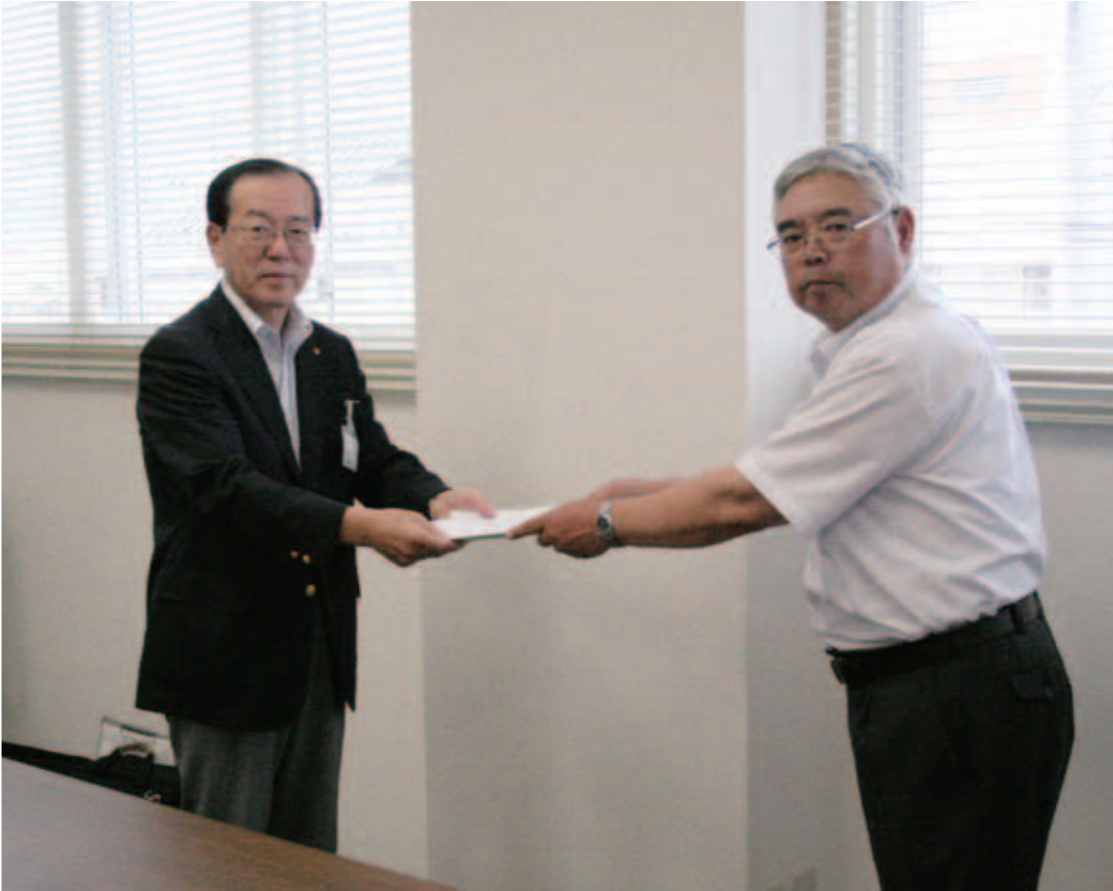
萩市は、国が、2020年の東京オリンピックまでに電気自動車の普及を新車の15～20%を見込んでいることを受け、市内7ヶ所の道の駅等の利便性の向上や、平成27年からのNHK大河ドラマ「花燃ゆ」の放映等に向け、観光客の誘致を図るために、市内7ヶ所に電気自動車急速充電器の設置を行った。設備費用については、国の補助や自動車4社の支援を受け市財政に負担のかからない設備を図った。

◆周南市：市民活動促進事業及び議会運営と改革について  
市民活動とは、不特定多数の人々の利益や地域住民の生活及び地域社会の維持・発展を目的として行う非営利で自主的な活動をいい、共に活動する楽しさや社会に役に立ちたいという喜びを感じる生きがいの場であり、この活動の促進の指針では、市民活動が活発に展開されることにより、地域に「助け合いコミュニティ」が形成され、魅力と活気のあふれる市民自治文化が創造されるとしており、これを進めるためには5つの取り組みからなり、その主な事項としては、活動情報発信、グループバンク事業の普及・拡充、市民活動の助成制度の検討・実施、リーダー養成講座の開催、市政への市民参加促進等を段階的に取り組み効果を上げていく。  
議会運営としては、本会議は、9時から17時まで、会派質問の実

施（3月定例会・所信表明ある定例会）、一般質問（答弁時間含み60分）、予算決算の審査は、会派から選出した委員で構成する「予算決算委員会」で行う。議会改革については、キーワードは公開・対話である。  
議長立候補制の導入、議長・副議長の資産公開と議員の所得報告書の提出、委員会懇談会（ミニコン）制度の創設・開催等の実施をしている。議会基本条例は制定していない。



周南市役所での研修



新田勝見議長から本田敏秋市長に要望書が手渡された

# 市民の声を市政へ 要望書を提出

7月号でお知らせしましたが、議会では開かれた議会をめざし、4月22日から24日まで市内9会場で『市民と議会との春の懇談会』を開催し、市民の皆様128人（うち女性20人）に参加いただき90件もの貴重なご意見、ご提言をいただきました。この内容を議会運営委員会等で慎重に協議し、要望書を遠野市議会として市長に提出いたしました。要望内容の主なものは次のとおりです。

## 要望事項

1. 公衆トイレの整備について  
介護者が男性であるか、女性であるかに関わらず利用することができると多目的トイレの整備の必要性が、機関、団体の検証で明らかになっています。  
また、車社会において、高齢者や障がい者の行動範囲が広がっており、そのような方

が気軽に利用できる機能的なトイレが市内に整備されていることが、人の流れが変わることも想定されます。  
釜石自動車道の開通により遠野市内にサービスエリア機能が求められることも想定されることから、高齢者や障がい者にやさしい公衆トイレの整備に取り組まれるよう要望します。

## 2. 野生鳥獣害対策

農作物におけるシカ被害対策については、「平成25年度市民と議会との春の懇談会」による「要望」において、すでに要望しているところですが、新たな課題が発生してきていることから、次の事項についても取り組まれるよう要望します。  
◇農作物の被害だけではなく、山林に対する被害も拡大しており、水源への影響も深刻と思われる。特に、仙人

峠方面の水源は減少傾向にあるのではないかと、情報も寄せられており、早急な調査が必要と考えられる。  
◇行政のシカ被害対策は、農業被害に対する電気柵の設置など限定的な対策に留まっております。山林被害に対する対策も含め取り組みること。  
◇駆除したシカの肉を有効に活用するため、処理施設の整備が望まれている。  
◇天然記念物である二ホンカモシカによる被害も増えており、対策を講じる必要がある。

## 3. 震災の被災者支援について

仮設住宅に入居している東日本大震災の被災者が、市営住宅に入居できるように支援体制を講じる必要があります。要望します。





柳田國男の生地「福崎町」を視察

◆丹波市・「健康たんば21」と「健康長寿日本2」の取組について  
丹波市は、生活習慣病による標準化死亡率が高く、また男女とも

◆福崎町・柳田國男と「遠野物語」について  
遠野市と福崎町が遠野物語の縁により友好都市を結ぶこととなる直前に視察したため、研修室及び柳田國男の生家等様々な場所まで、町長、教育長、議長までも立ち会っていただいたことには、誠に恐縮するばかりであった。福崎町では、柳田國男を知らしめるための教育副読本や彼の生家をはじめ、幼少期からの関係施設、松岡家記念館などが整備されており、松岡5兄弟の顕彰もしっかり行われていた。8月23日の協定を機に、福崎町との相互交流が深まり、情報発信していければと願う。

◆小野市・「おの検定」と「16ヶ年教育」の取組について  
「おの検定」とは、平成16年から小野市が独自に取組んだ学習システムで、小中学生の基礎学力・体力の養成がその主な目的であるが、平成17年から、東

に自殺の死亡率も高いことが課題であった。健康づくり重点5分野（栄養・食生活、身体活動・運動、こころの健康、タバコ、健康診査・健康管理）に力を注ぐことで大きな成果を生み出している。特に、思春期からの健康教室と題して、地元3校の高校生への食育講座を開設し、一人暮らしが始まる前に自分の食生活を考えて実際に調理させるなどの取り組みは、市と県の壁を乗り越えた活動として高く評価したい。市・教育委員会との連携、地元小中、高校との連携は、遠野市にとっても有効な健康づくりに結び付くのではないかと考える。

市（2度目の入賞）と釜石市の甲子川が第2位となった。この16回大会でグランプリとなった北川川は、護岸や深みには巨石をたくさん置き、一方では浅瀬を造り水生昆虫が羽化できるように環境を整え、堰堤の撤去も行っている。稚鮎も従前の琵琶湖

おの「16ヶ年教育」とは、平成17年度から始まり、マインナー1歳から15歳までの16年間で3ステージに分け、まさに知・徳・体の向上に結び付けた教育方法であり、基本的な生活習慣の確立と「生きる力」の基礎を育成し、大きな成果を生んでいる。脳科学による教育とは、脳の司



小野市役所で研修

※松岡家……  
柳田國男は、松岡家の六男として生まれました。

令塔である前頭前野をどう鍛えるかであり、その効果的な方法を見つけ出し、実践することである。遠野市の教育現場や健康づくりにおいて、脳科学による推進策を一考してもよいのではないかと。

## 兵庫県福崎町と友好都市に 教育民生常任委員会行政視察研修

〔視察日程〕

8月19日～21日

〔視察研修先〕

兵庫県神崎郡福崎町

兵庫県丹波市

兵庫県小野市

〔参加議員〕

菊池巳喜男

萩野幸弘

新田勝見

菊池邦夫

小松大成

瀧澤征幸

## 自伐型林業の取り組み

### 産業建設常任委員会行政視察研修

〔視察日程〕

6月25日～27日

〔視察研修先〕

高知県佐川町

高知県津野町

〔参加議員〕

多田誠一

織笠孝之

菊池充

荒川栄悦

照井文雄

佐々木大三郎

多田勉



自伐型林業に取り組む若者から現地で話を聞く

◆佐川町・「NPO法人士佐の森・救援隊」の取り組みについて  
これまでの森林作業は、森林組合や森林作業請負事業体に仕事を任せる「施業委託型」林業が主で生産性を重視し高性能機械による大規模皆伐は環境悪化の一因となった。更に林業に従事する人々も自然に山から離れ、中山間地域の衰退に繋がる。土佐の森救援隊は「自伐型」林業を復活させ、雇用の拡大、山林収入の確保、中山間地域の活性化を目指し、人材育成、技術指導、財政支援など総合的組織的支援を行い、林業、農業の副業を組み合わせ収入を確保することによりU・I・T・A・Iが増え地域の再生に繋げている。全ての山林を管理するためには、施業委託

型である森林組合の役割も大きいと考える。津野町・「清流めぐり利き鮎会」でグランプリに輝いた北川川の環境保全と漁業振興について  
河川環境の悪化は四万十川も例外ではなく、河川環境を守るために誕生したのが「高知県友釣り連盟」であり、各河川の鮎を一か所に集め、女性や子どもも参加し、鮎の味で環境の違いを判断してもらおう「清流めぐり利き鮎大会」を開催している。全国の50河川の漁業協同組合などの参加により「山・森・川」の大切さを広く発信している。昨年度の16回大会では盛岡



日本一うまい鮎が採れる北川川

産から秋田・岩手産に変えた結果、冷水病による大量死が無くなり、大型の鮎が育ち、多くの釣り人で賑わっている。今後も当大会を通じて、河川環境の向上に繋げていくとのことである。





松くい虫から守られた松を視察

〔視察日程〕  
8月26日～27日  
〔視察研修先〕  
秋田県にかほ市  
山形県川西町

〔参加議員〕  
瀧澤征幸  
新田勝見  
萩野幸弘

◆「九十九島（象潟）の松をまもる会」の活動について  
国指定天然記念物「九十九島（象潟）」の景観の中核をなす松を松くい虫から守り、美しい景観を後世に引き継ぐため、平成11年に「まもる会」を設立した。平成12年ころから毎年行われた黒松の伐倒は、平成24年度にはゼロとなりほぼ終息させるまでとなった。

面白いのは、国の文化財は松ではなく、島の地質、土、岩であることである。

松を守るために伐倒、薬剤樹幹注入、無人ヘリ防除、草刈り、種の採取と育苗を続け、市や企業、そしてこのボランティア団体の守る会が悪戦苦闘しながら象潟景観を守ってきている。

遠野市においても松くい虫対策が急務であると認識するが、松く

◆「NPOきらりよしまネットワーク」の活動について  
NPOきらりよしまネットワークは、行政と対等の立場で新たな地域づくりや子育て等を実践しており、年数をかけた人材育成のシステム化や住民ワークショップなどにより、行政や県・国までを動かして新たな地域づくりの実践と様々な提言を行っている。

地区公民館の公設民営化と同時に職員を役場に引き上げる流れのなかで、住民主導でこのNPOを立ち上げたのである。少子高齢化の後継者不足、活動のマンネリ化、若者の出番不足などを解消すべく、様々なプログラムが用意されていた。行政が本来やるべき？こ



きらりよしまネットワークの取り組みを学ぶ

# ボランティアで松くい虫防除 緑風会視察研修



国会議事堂も視察

〔視察日程〕  
7月30日～31日  
〔視察研修先〕  
東京都千代田区  
国会議事堂  
衆議院第2議員会館

〔参加議員〕  
菊池邦夫  
荒川栄悦  
新田勝見  
浅沼幸雄  
菊池民彌  
照井文雄  
菊池巳喜男  
佐々木大三郎  
瀧本孝一

◆農政改革についての勉強会  
国会議事堂を見学後、衆議院第二議員会館地下の第10会議室に移動し、この視察研修のメインである「農政改革について」と題した勉強会となった。農林水産省農政関係担当職員7名を講師に◆農地中間管理機構の創設◆経営所得安定対策の見直し◆水田フル活用と米政策の見直し◆日本型直接支払制度の創設、以上4つの改革について、それぞれの担当者からパンフレットの資料により国の考え方や内容の説明を受けたが、内容的には、これまで市から受けている説明と大差はないものであった。

今日の我が国の農業の現状は、農業従事者の高齢化、耕作放棄地の拡大などの課題が生じ、担い手への集積や生産コストの低減、一

般国民（納税者）への説明責任や納得などを構造改革をさらに加速化させていく必要がある、そのためにも農業を足腰の強い産業としていくための政策（産業政策）と、農業・農村の有する多面的機能の維持及び発揮を図るための政策（地域政策）を車の両輪として推進し、関係者が一体となった課題の解決に向けて取り組まなければならないというのが国の考え方である。

説明後、当市議員側から一人一問の質疑時間となったが、中山間地である遠野市の現状と課題や制度への疑問点を相手方に訴えることが出来たことは、双方とも貴重な収穫と成り得たのではないかと思われた。



橋本衆議院議員に要望書を手渡す

◆国会議員に「要望書」提出  
橋本英教衆議院議員に、本市が抱える課題である◆過疎地域の維持・活性化について◆地方交付税の確保について◆災害に強い情報ネットワークの再構築について、以上3点を重点項目として記載した「要望書」を、参加議員一同で今後の国政に反映と期待を込めて提出し、受け取っていただいた。



# 決算特別委員会

決算特別委員会(議長及び議会選出の監査委員を除く18人の議員で構成、委員長は多田誠一議員、副委員長は織笠孝之議員)は、決算等9件の議案について付託を受けて、4日間の審議を行いました。審議の結果、一般会計ほか8会計を全会一致で認定、その他1件を可決しました。

## 新たな転作作物の可能性を求めて 遠野一新会及び議員有志合同視察研修

〔視察日程〕  
9月2日～3日  
〔視察研修先〕  
秋田県八郎潟町  
岩手県一戸町

〔参加議員〕  
織笠孝之  
安部重幸  
多田誠一  
菊池充  
菊池由紀夫  
多田勉



大きく育ったドジョウ

◆八郎潟町・「あきた田園どうじょう株式会社」について  
近年、収入が多い作物や、転作作物が見当たらない時勢ではあるが、ハウスを利用しドジョウを養殖することは、高収入が期待されるのではないかと考え、今回研修を行った。ドジョウの養殖は高等技術を必要とし、養殖に挑戦するも失敗した事例が数限りなくある中、「あきた田園どうじょう株式会社」の取り組みは非常に興味をそそり、孵化から成魚の出荷までの一貫養殖が確立され、通年出荷を実現しており、高品質のドジョウを養殖している。  
ハウスによる保温、水草の人工栽培、タニシとの共生、人工飼料での管理などにより、ドジョウの歩留まりがよく、柔らかい骨身で、泥臭くない養殖に成功

しており、生産が間に合わないとのことである。  
日本の市場に出回るドジョウの90%は中国産であり、安全性が懸念されている。また、ウナギの減少により、3年養殖物は、蒲焼きとしての需要が期待されるなど、まだまだ高収入を得る可能性を秘めた商品であると期待でき、遠野市内の転作としても十分可能であると思われる。  
◆一戸町・「小鳥谷さくらんぼ生産部会」について  
県北に位置する一戸町は、春の気候が厳しい地域であるが、そのような環境下でサクランボの生産を確立させ、夏恋(かれん)というブランド品のサクランボを高額で販売している。  
霜に弱く、収穫期に雨に当たると実割れるので、ハウス内での



ビニールハウスを利用したドジョウの養殖を視察

栽培を行っているとのこと。  
土作りは、微量元素の入った有機肥料等により、根張りを良くし、糖度の高いサクランボを作る努力をしている。その結果、1kg数万円のサクランボ販売につながっているのに驚いた。  
技術向上はまだまだ

途中で、矮化栽培で10a当たり12～13本、針金で枝を伸ばす棚づくりも始まっている。  
遠野市内の転作としても十分可能であると思われる。

### 担税力がある人の滞納状況と納税指導対策は

問 担税力がありながら滞納している人の割合について現状は。  
答 滞納している人の財産調査をすると、所得や財産がありながら納税していない人もいるが、昨今の市民所得の向上と比例し、また、徹底した納税指導のもと、以前よりその割合は減る傾向にある。  
問 税負担における公平性の見地から、また、きちんと収めている人の納税意欲の減退を招かないよう、毅然とした態度で臨むべきでは。  
答 あらゆる手段を駆使して財産や収入の調査をし、確実に市税を納めていただくよう今後も継続して努力することで税負担の公平を図っていく。

### 職員研修計画の実態は

問 職員の研修は、研修計画に基づいて実施されているのか。  
答 第二次遠野市人材育成基本方針が職員能力開発の基本計画になっており、計画人数を見通して予算編成時期に定めている。  
問 職員に均衡ある研修機会を与えているか。  
答 総務課では若手職員の研修を、各課では専門研修に参加させるよう配慮している。

### 生活保護世帯の状況と自立支援のあり方は

問 生活保護世帯の中心で65歳未満の割合は。  
答 被保護世帯のうち、高齢者世帯は11.1世帯、43.3%で、それ以外が65歳未満の世帯である。うち母子、傷病、障がい者を除く失業等で就労が

可能な方の割合は、64世帯、26.3%である。  
問 就労可能世帯で、就労できた方の割合は。  
答 ケースワーカーの訪問調査では、就労可能な方は29人おり、その中で就職をあっせんした方は14人、うち2名が就職できた。

問 生活保護世帯の増減について、実態をどのように捉えているか。  
答 全体の被保護世帯は240世帯、31人上り、記憶する限り最高の数字と捉えている。

### 衣類回収ボックスの成果は

問 あふれるほどの衣類回収がなされているようだが、ボックスの設置状況は。  
答 地区センターを中心に、11箇所22個設置している。  
問 回収状況と資源回収の今後は。  
答 現在まで、予想を上回る約43トン回収し、県内2番目の成



衣類回収ボックスが設置された

果となつている。今後継続し、回収物品の周知を図り取り組む。  
問 費用対効果の面から、積極的取り組みが必要では。  
答 協力隊への参加希望者が減少していることと、全国的に入入要望が多いことから、当面1名の受け入れで対応したい。

### 緑のふるさと協力隊事業の成果について

問 受け入れの成果は。  
答 この事業は11年目となり、遠野市に6名の方が定住している。毎年1名の受け入れで、宮守町を中心に郷土芸能の伝承は勿論のこと、地域と一体になり活動している。

### 松くい虫対策は万全か

問 松くい虫の被害木は年々拡大傾向にある中で、宅地内の被害木は個人で駆除してほしいとのことだが、





松くい虫の被害を受けた松林

区別なく駆除をすべきではないか。

**答** 山林内にある被害木は多く存在しており、予算内では到底対応できない現状にある。そのため、宅地内の被害木についてはあくまで個人の財産でもあり、個人対応をお願いしている。

**問** 例えは有害駆除の場合、宅地に熊や鹿が出たから個人で駆除してくれということにはならないはず。宅地内の被害木から山林にどのくらい被害が広がっている。松くい虫対策を

本気で考えているのか。  
**答** やはり山林に被害木がたくさんある。宅地内の松被害は個人で処理してほしい。限られた予算の中で松くい虫対策を強化していく。

**淡水魚生産を活性化しブランド化を**

**問** 淡水魚生産者はかつて40名近くおり、販売額も8千万円で1億円をめざす産業であったが、現在は9名の組合員となり、生

産量も減少している。かつては遠野市のヤマメは日本一と言われた時期もある。淡水魚生産をもっと応援し、生産の立て直しを図るべきではないか。  
**答** 淡水魚生産の推進を図るため、生産体制の見直しを進め、ブランド化に向けた新たなモデル事例を示しながら、淡水魚事業の見直しを図りたい。生産量の減少には確かに高齢化も大きく影響しているが、米生産よりは利益率も高いので、ヤマメ等の特産品をどう売り込んでいくべきか戦略を練っていきたい。生産者の皆さんと協議をしながら、持続可能な組織体制づくりを目指したい。

**緑峰高校のホップ和紙作成と市の関わりは**

**問** ホップの蔓を原料に和紙の作成に取り組み、プロジェクト発表で全国大会出場が決めたが、市はどのよ

うに関わっているのか。  
**答** 4〜5年継続して取り組みを支援している。今回の発表にあたっては、六次産業推進本部が対応している。また、TKプロジェクトにも取り組んでおり、ホップ栽培振興の面からも、東北大会に合わせてキリンビール仙台工場の見学も実施するなど広く支援しており、今後更に強化したい。

**学力向上スタートダッシュ事業の成果は**

**問** 先進地視察の具体的な内容と成果は。  
**答** 各小学校2名の参加で、横浜国立大学付属小学校と中学校で研修した。これまでの教師主導型でなく、今までに習ったことや資料等を自分で調べ考えたことを子どもたち同士で交流して発表する勉強のスタイルと、各中

**スクールバス運行の問題点と見直しについて**

**問** スクールバスの運行コース見直しの要望があったと記憶しているが、どうなっているか。  
**答** 宮守町で乗降場所が傾斜地であるという点で一部変更した。

**問** 新入生の環境実態を見極め、安全安心を考慮した運行改善をすべきではないか。  
**答** 交通事故等の心配もあるため、学校や保護者等と相談しながら検討する。

**寺沢高原観光施設の管理の状況は**

**問** 寺沢高原バンガローの管理の内容と、利用の状況は。  
**答** シルバー人材センターに委託し、草

刈りと水の一体的な管理をしている。除染作業や、年一回の水質検査で大腸菌の検出の心配もあり、そのあたりを観光客への周知に努めている。また、電気がないことが若い人たちにはネックになり、現在利用する人はいない。  
**問** 施設を恒久的に遊休化させることは好ましくない。利用効果が現れるような広い視野で対策を講じるべきでは。  
**答** 今の若い親や子どもたちはマツチの使い方も知らないという話も聞く。有効な施設であり、不便さなどの逆境を逆手に取りPRすることも一つの手法である。市内観光施設改修の全体計画に合わせて対応していきたい。

**問** 展望台は床板が落ちて危険なため、立ち入り禁止となっている。現地を確認しているか。また、修理等今後の方針は。  
**答** 先月も現場を見てきた。ロープ一本とバリエードだけで観



床板に穴があき、立ち入り禁止となっている寺沢高原の展望台

光客が登ろうとすれば登れる状態であり、登れないような対策を講じたい。展望台は建築後約20年経っている。先月宮守町の区長会にも意見を伺っており、観光施設の改修計画の中に入れて検討していきたい。

**出産育児一時金の内容と出産増環境整備は**

**問** 出産育児一時金は予算額1,050万円に対して714万円

が支出され、3分の1ほどが不用額となっている。国保会計における子どもを出産した対象者が減ったということか。  
**答** 当初予算25名の積算が、実績として17名となった。

**問** 市は「子育てするなら遠野」ということで取り組んでいる。もっと子どもを産み育てる環境を良くし、この予算が全額執行されるためにはどのような取り組みが必要か。  
**答** 市の横断的なプロジェクトを設置し、あらゆる分野から

**遠野テレビの落雷対策について**

**問** 最近多発する落雷による故障発生状況は。  
**答** 8月に発生した長時間、かつ広範囲な落雷により同軸ケーブルに157件の被害(停波状態の故障)を受けた。また、最近は落雷の多発により年々増加傾向にある。  
**問** 現在使用中の同軸ケーブルを落雷の影響を受けにくい光ケーブルに替えてはどうか。  
**答** 雷害を無くすには光ケーブルに替える

**水道の有収率向上対策は**

**問** 有収率は他市町村と比較して低いように感じるが。  
**答** 他市町村より低いと認識している。その原因は、水道管の総延長が608kmと長く、老朽化により漏水個所が多いことにある。  
**問** 漏水の多い老朽管を更新するため約2.1億円という多額な費用を投じた割に、有収率は計画値77.8%に対し実績値77.0%と0.8ポイント減にとどまっている。もっと効果的な対策を講ずるべきでは。  
**答** 水道管の老朽化が進んでおり、老朽

管の更新が追い付かない状況にある。今後はこれまで以上に漏水調査と老朽管の更新に努める。

※有収率とは……水道水の総配水量のうち、料金として徴収された水量の割合。

**市民の声**  
このコーナーでは、市民のみなさまから議会に寄せられたご意見等について一部ご紹介いたします。

37号議会だよりの表紙がとて素晴らしいです。田植え後の水面にかやぶきの社がきれいに写ってて、風もなく、遠野らしいおだやかな風景ですね。(宮守町 男性)

私は年を重ねているので目を通すのは新聞とか市からの書類を見るのが楽しみです。頭の勉強にもなり助かります。ご苦労様です。(宮守町 女性)

議会だより、いつも楽しみにしております。今号からカラー印刷で見やすく、今迄「見ない」ページがあったのも今では「見たい」と思うようになりました。(早瀬町 女性)



# 予算等審査特別委員会

予算等審査特別委員会（議長を除く19人の議員で構成、委員長は菊池民彌議員、副委員長は安部重幸議員）は、条例8件、予算7件、その他2件について付託を受け、審議を行いました。今委員会では、今後の施策全般にわたり活発な質疑が交わされました。その結果、全17議案が原案のとおり可決されました。

## 財産の取得について

**問** 導入予定機械の詳細は。

**答** トラクターほか草地管理機械一式である。

**問** これらの機械はキヤトルセンターで使用するものか。

**答** 公共牧野での採草と、キヤトルセンターで使用し、自給粗飼料の生産を高めた。

**問** 導入機械により、市内採草牧野の草地管理を賄えるのか。

**答** 採草時期が限られ、短期間での作業となるため、今後機械導入の追加が必要になると思われる。

## 旧上郷中学校の郷土芸能伝承館整備をどう進めるのか

**問** この補正は、物品等の展示を中心としたものか。

**答** 2年ほど前から郷土芸能伝承館として活用したいというところで構想が決まっている。今般の補正は、郷土芸能の物品等展示に係る基本設計業務委託料である。



郷土芸能伝承館に生まれ変わる旧上郷中学校

**問** 展示物については遠野市内全域を網羅するという考えでよいのか。

**答** そのとおりである。可能な限り集約して展示等していきたい。

**問** その後の事業内容は、既に当該地域では行われているが、校舎の一部を活用し、観光的・民俗的な意味合いを含めて、郷土芸

能の伝承活動や踊りの披露なども取り入れていきたい。

## 26年産米の大幅価格下落に対する支援策は

**問** 26年産米の概算払い金が、大幅に下落し示されたが支援策が必要では。

**答** 加算を打ち出す地域もあるが、当地域においては具体的な直接補填はない現状である。

**問** 何のためにアストロを立ち上げているのか、足腰の強いタフビジョンの基本は、農家を守ることにある。行政と農業団体が一体となり、支援することが必要と思われるが。

**答** 全国的に憂慮される状況にある。減収分について補填策は

あるものの、今後の推移を見据え対策を講じたい。

## 26年産米の大幅価格下落に対する支援策は

**問** 今後の管理体制に地区センターを中心に関係者と協議し、しっかりとした管理体制づくりを構築していく。

**答** 奨励により栽培面積も29ha増の194haとなったが、37.5%の落ち幅となり、何らかの対策をJAと協議したい。

**問** 今後米価の下落に伴い、飼料米を作付けすることに個々の圃場において品種の混合が懸念されるが、どのように対応するのか。

**答** 価格の回復が見込めない中、作付けの多様化が進行すると思われるため、栽培指導を強化したい。

## 風の丘に市外の水産会社が参入したことによる影響は

**問** 風の丘に大船渡の水産会社が参入したが、市内の同業者に対し事前に情報提供や相談、意向確認を行ったか。また、売り上げ面などに影響はないか。

**答** 商工会を通して事前相談や意向確認をしながら出店する業者を検討してきた。売り上げ面で同業者への



道の駅風の丘に出店した鮮魚店

影響は少なからずあると考えられるが、お互い独自色を出すことにより相乗効果が期待できる。

## 原木シイタケ栽培への今後の支援策は

**問** 3年間の市単補助成が26年度最終年度となるが、一歩進んだ次期対策を講ずることができないか。

**答** 緊急対策事業として原木と種駒の助成をしてきたが、国庫事業と市単事業との条件を確認しながら対応していく。

**問** 市では27年度予算取りまとめの段階で、国の高率補助についてどの程度農家に説明してきたのか。

**答** 国の事業説明はまだ行ってない。

**問** 農家の要望に対する国の採択時期を失しないように早く農家全体の意識を把握し、次の事業につなげていくべきではないか。

**答** 生産者の意向確認を早々に行っている。

## 松くい虫被害の実状と対策は

**問** 松くい虫の被害が深刻だが、対策予算はどうなっているか。

**答** 今回の補正には上げていない。県の対策状況と現地を確認しながら対応する。

**問** 先進地に見習い、民間ボランティアを募る等、市民協働で対策を打つことが必要では。

**答** 参考になる事例は、取り入れて対応したい。

**問** 被害根絶に向けた具体的な計画はあるか。

**答** 県では被害地域の監視隊等を設定して防除している状況であり、現在、当市としての具体的な計画はない。

**問** 今後の対策に向けた決意は。

**答** 有害鳥獣対策は駆除、防除、人材育成の3本柱で強力に押し進めているが、この問題も類似しており、

## 道の駅へ電気自動車用の急速充電器の設置を

**問** 市内には道の駅が2ヶ所あるが、そこに電気自動車用の急速充電器は設置されているか。

**答** 風の丘に普通充電器が設置されている。

**問** 総務常任委員会「環境にやさしい観光地づくり」のテーマで先進地研修をしてきた。そこは低炭素社会の推進及び道の駅の利便性と利用客や観光客の増加などを目的として、市役所はもとより市内に7つある道の駅すべてに、急速充電器を設置している。本市でも電気自動車等の普及に合わせ、早急に同様の取り組みが必要ではないか。

**答** 二酸化炭素の排出を増大させ、地球温暖

化の一因にもなっている。世の中の流れは、これから電気自動車等が普及していくと思われる。国の補助事業を導入活用しながら、他の地域に遅れを取らないように整備を図っていききたい。

## 遠野の「どぶろく」と商標登録について

**問** 牛には「いわて遠野牛」という商標登録があるが、どぶろくは「日本のふるさとどぶろく」ということで、「遠野」の地名は入っていない。早急に手続するべきでは。

**答** 登録には費用もかかるが、どぶろく特区全国第一号ということもあり、登録当時の状況を確認しながら前向きに検討したい。

## 遠野の原風景保全について

**問** 中心市街地の観光とは別に、遠野の原風景を基礎とすることが遠野の観光の基本

であるものの、今後の推移を見据え対策を講じたい。特に、いわてっこの栽培を拡大奨励してきたが、落ち幅があまりにも大きい。生産者への対応は、奨励により栽培面積も29ha増の194haとなったが、37.5%の落ち幅となり、何らかの対策をJAと協議したい。



国選定重要文化的景観に指定されている「荒川高原」





佐々木大三郎 議員 (清風会)

一問一答方式

# 人口減少対策の方針は

いと考える。

**問** 「日本創成会議」が発表した若年女性(20~39歳)の減少による将来的な自治体消滅の懸念に対する所見は。

**答** 日頃から感じていることであるが、当市の若年女性が2,274人(2010年)から882人(2040年)に61・2%減少するという現状を再認識のうえ、地域経営戦略をもつて他市町村と連携しながらこの問題に立ち向かわなければならぬ。

**問** 若者が地域から流出する理由や原因を把握し、それを対策に生かさなければならぬと考えるが。

**答** 提案は重要なことであると理解する。加えて、「子育てするなら遠野」や「産業振興」の環境作りにも力を入れていく。

**問** 中心市街地にIT企業を誘致し、ITタウン構想を描いてはどうか。このことにより若年女性の雇用創出や中心市街地の活性化につながるかと考えるが。

**答** 多くの若者が働く場は必要であり、その受け皿整備のためにも必要性は認識する。

# 林業振興対策の考えは

**問** 山林所有者自らが植林から伐採、運搬、販売まで行い生計を立てる自伐型林業の推進を図るべきと考える。このことにより荒廃した森林は再生し、土砂の流出防止や鳥獣被害の減少、雇用創出になるのでは。

**答** 遠野の豊富な森林資源を生かすことと認識している。先進地の自伐型林業には模範になる事例やヒントがあるので、取り組みに向けて検討しなければと考える。

**問** 3年前に林業の専門家育成を目的で「林業大学校構想検討委員会」を立ち上げたものの、その後の活動

**答** 状況が見えないが。東日本大震災の発生により一時中断していたが、活動を再開し、情報収集や情報発信に努めている。この結果「東北林業サミット」や「日・オーストリア委員会」など全国規模のイベントが遠野市開催に繋がっている。



きれいに手入れされた森林



佐々木 讓 議員 (無党派)

一問一答方式

# 新庁舎建設について

**問** 3月14日の議員全員協議会で、市役所本庁舎の整備方針について提案されたが、敷地確保の進捗状況はどのようになっているのか。

**答** 予定敷地内の地権者は23名、店子は12名の計35名であり、全員の了解を得て進めている。用地測量業務及び物件移転補償調査業務は6月14日に終了した。

**問** 市役所は、現在「協同組合遠野商業開発」が運営している「とぴあ」に入居しているが、支払っている入居負担金の年額はいくらか。

**答** 指定管理者である「協同組合遠野商業開発」に対し、平成25年度実績で20,147,000円を支払った。

**問** 新庁舎に入る部署は、どの部署を予定しているのか。

**答** 議場を含め庁内で検討する。現在「合同庁舎」や「福祉の里」「旧庁舎西館」等に入っている部署等も長短併せて検討する。

**答** これからの世代を中心とした20人の委員による「遠野のまちづくりを考える市民ワークショップ」を組織した。最初の会議を9月24日に開催し、住民主体の中心市街地のまちづくりを推進する。



市役所新庁舎の建設予定地 (図面)





小松 大成 議員 (無会派)

一括質問方式

【その他の質問】

- 公契約条例制定について
- 農耕馬飼養農家への支援策について

米価暴落について

問.....

今年産早場米の消費地では、昨年度の価格を大幅に下回る米価暴落の状況である。このまま米価が下落することとは、当市の稲作農家のみならず農業経営全体に及ぼす影響は甚大である。主食である米の需給と価格の安定をはかることは政府の重要な役割であり、米の過剰基調が明確になって来ている今、政府の責任で需給の調整を行うのが当然なはずだが、政府は市場原理と

してその責任を果たさうとしない。

備蓄米買い入れをはじめとして、緊急に過剰米処理を政府の責任で行うことを遠野市として提言するべきである。

答.....

東北農政局が発表した8月15日現在の東北6県の作況指数は102から105に相当する「やや良」であり、豊作基調となっている。本市においても「豊作」が見込まれる。しかし、天候不順から

農作物の生育の遅れや病害の発生が広がりを心配する声もあり、一概に暴落するとの予測は出来ない。なお、国においては米価変動に対するとして、補填制度が設けられるなど、米価下落に対する対策が取られている。

政府の「農業改革」について

問.....

農業委員会、農業生産法人、農協は、家族農業を基本とする戦後農政の中心に据えられてきた制度である。「改革案」は、実質的に解体し、戦後農政を根本からくつがえす内容であり、農業と農村のあり方に深刻な影響を及ぼし、食料の安定供給

や国土・環境の保全といった国民的課題の達成に逆行するものといわざるを得ない。政府の「農業改革」について市長の見解は。

答.....

農業委員会は地域で営農を営む農業者の代表であり、その果たす役割は重要である。その公的代表を地域の農

業者が選出する「公選制」をなくす事には、慎重であるべきと考えられる。農協改革については、農協が個々の農家の経営に深く関わってきた歴史からしても、農山村地域では重要なインフラにもなっていることなどから、慎重な議論が求められる。



実りの秋も、米価の下落が心配される



浅沼 幸雄 議員 (新興会)

一問一答方式

問.....

平成23年10月に遠野馬の里競走馬部門が完全民営化された。それから現在までの3年間の状況は。

馬の里競走馬部門の現在の状況は

た。

以来現在まで、年間約70頭の安定した頭数を確保しており、経営も安定していると認識している。加えて馬の里での育成馬が今年、日本ダービーへ出走したり、約15名の市外からの新規雇用者が市内に定住したり、綾織夢を咲かせる女性の会の方々が、おいしい食事を提供して好評を博す等の効果もあらわれて

問.....

競馬人気低迷していると思われる現在において、これから先も70頭という安定した頭数が確保されるのか。

答.....

遠野トレーニングセンターの構成員は、北

海道で大規模な生産牧場を経営なされている方、多くの競走馬を所有しJRAでも活躍なされている関西地区の馬主の方、そして生産された競走馬を調教する、我が国の第一人者である調教師の方も関わっており、それに加えて地元として遠野市

が良好な環境のなかで存分にトレーニングができて、良い結果を出せるという環境を整えておけば、安定的な頭数の確保は可能であると考えている。

頭数も経営も安定していると認識



充実した施設で強い競走馬の育成が期待される (馬の里の覆い馬場)

【その他の質問】

- 「遠野スタイル自立・連携行動プラン」の進展状況と今後について
- 公共施設の現状把握の進捗状況とそれを踏まえた出口戦略としての再生計画策定のスケジュールについて





龍本 孝一 議員  
(新興会)

一括質問方式

# 人口減少時代の 地域づくり・ まちづくりは

問.....

日本創成会議のシヨッキングな日本の将来像のレポート発表や、先の内閣改造で「地方創成相」が創設されたが高齢社会・人口減少時代における本市の地域づくり・まちづくりをどう進めて行くのか。

答.....

この問題は肌で感じており、急激に進む高

速インフラの整備、加速する少子・高齢化、人口減少等の社会情勢の変化の中で、これに立ち向かう自治体連合を立ち上げようとする首長間の動きもある。

今のうちに持続可能なまちづくりの方向性を見出すために、第2次進化まちづくり検証委員会を昨年5月に立ち上げた。このほど中間報告がなされ、平成28年度から始まる新総

合計画に反映させていく。

問.....

中心市街地から離れた周辺山間地の活性化や「地域力の保持」をどのように図っていくのか。

答.....

本市が40年前から取り組んできた地区センターを中心とする「カントリーパーク構想」に基づく地域づくりに立ち返るような、国の「過疎集落のネットワーク化事業」にも期待し、地域の持つ底力を支えていく。

問.....

本市の地域資源を活用しながら「癒し、癒される田舎・遠野郷」づくりを目指し、アピールしていく考えはないか。

答.....

今後も更に遠野の「癒し効果」を国内外にPRし、交流人口の拡大を図りながら定住人口の増加につなげていく。

# 市内観光地の 処遇の格差と 振興は

問.....

合併後、宮守町の観光地はめがね橋を除き、寺沢高原や稲荷穴など、情報発信や施設

答.....

全国1,030ヶ所ある道の駅を持つ市町村等と連携し、地域振興と物語性を持った市内観光地を結ぶ面のネットワークづくりに努めるとともに、稲荷穴から馬越峠を通って附馬牛町に抜ける県道の拡幅改良を県に要望した。

寺沢高原のロケーションの素晴らしさは認識しており、展望台等、施設の環境整備と安全点検を図っていく。



秋空の寺沢高原にそびえ立つ  
標高 1,000 mの展望台

# 若い人が定住できる 遠野市の施策を

問.....

現在の課題の一つとして、若い人が遠野に戻れる環境、条件、魅力をつくる必要がある。国も就労の場の一極集中から地方に流れを転換する施策を打ち出そうとしている。若者が残れる遠野市をどうつくるか。

答.....

昨年の市長選挙で取り組む二つの緊急課題

として「地域経済の振興と雇用の確保、交流人口の拡大」と「少子化対策と教育環境の整備」を掲げた。また今年4月に「遠野六次産業推進本部」と「子育てするなら遠野推進本部」を立ち上げた。この二つの本部を中心に総合的に取り組みをする。

文部科学省は、グローバル社会時代に対応

した「使える英語」を身につけた人材育成を

目指している。しかし

成績評価のあり方、英語嫌いの増加、担任の

指導力や研修の充実、

外国語指導助手の確保

など、課題がないわけではない。遠野市の今後の英語教育の方針を

問.....

「子どもたちが楽しく、実践的な実力を身につける」ために何よ

りも重要なのは、指導する教員の資質・能力向上である。この点に

関しては、市の学力向上の中核である授業改善を充実させていく。

また、県教委と連携し

「中高連携英語力向上推進事業」の継続によ

つて効果の充実を図っ

ていく。

問.....

遠野市教育委員会の「全国学力・学習状況調査の結果」公表の方針を聞きたい。

答.....

学校別の公表は行わないが、今年から学力テストの趣旨を重視した上で、説明責任及び



子どもたちの力を伸ばすため、学力向上に取り組まれている

地域と共に子どもたちを育てている点を踏まえ、市全体の概要は公表する。教科調査の結果は、「概ね全国平均」「全国平均を上回る」「全国平均を下回る」の3段階で表記するなど、9月中を目途に遠野市のホームページで公表する予定である。



石橋 達八 議員  
(無党派)

一括質問方式

# 全国学力テストの 公表方針は





多田 勉 議員  
(清風会)

一括質問方式

# 担い手への農地集積と今後の推進は

問……………

米価の急落は、担い手に極めて深刻な影響を及ぼしており、生産基盤の効率化を図るための整備や、担い手への団地化集積が課題となる。遠野市の認定農業者等担い手への農地集積率の推移と貸借契約を許可した農地の耕作放棄はないか伺いたい。

答……………

全国的に見ると、ここ20年間で耕作放棄地

は40万haに倍増し、担い手の農地利用は約5割の現状である。加えて農業者の高齢化及び後継者不足などの課題が生じている。国では農地中間管理事業を制度化し、今後10年間で担い手の農地利用は全農地の8割を目指すとした。農業委員会では、農業経営基盤強化促進事業の推進を図っているが、農地集積率は20%となっている。

農地の耕作放棄面積は、25年度調査では総体で254haとなっている。

いるが、担い手等農業者が耕作を放棄している農地がないことを確認している。農地利用の集積、集約化を推進するためには、担い手である認定農業者の確保や育成と、農地中間管理事業による地域集積協力を活用した手法等の検討が大きなポイントになると考え、地域での話し合いに農業委員も参画していきたい。

# 農地中間管理事業での農業振興の具体策は

問……………

農地中間管理事業について、去る7月28日から関係機関・団体が連携して説明会を開催したが、出席人数が少なく、更には農地の出し手が出席されていないことなど、今後の事業進展に不安を抱くものである。

この事業の創設に伴ってモデル地域を設け

答……………

この制度を農業再生の契機と捉え遂行することが農業委員会の役割と認識する。8月1日から貸付者及び借受者の公募が開始され、相談窓口を充実するため「農地中間管理事業相談受付窓口」を開設した。事業推進にあたっては、地域事情に精通している農業委員の

存在が大きい。農地集積集約化の推進に向け、「農地中間管理事業地域推進チーム」を7月に設置した。説明会への出席者が少数であったことから、農業委員会でも改めて周知が必要と考え、モデル地区の選定を市当局と模索したい。地域農業マスタープランに定める経営体農地への集積及び耕畜連携による循環型農業や6次産業化等を促進し、経営基盤の強化と目標実現に取り組む。



「農地中間管理事業相談窓口」が設置された



多田 誠一 議員  
(遠野一新会)

一問一答方式

# 農地中間管理事業の取り組みは

問……………

国策は、認定農業者、生産法人に農地集積を図り、他農家は支援しない方向に進んでいるが、その対策は。

答……………

マスタープランの策定と取り組みは始まっている。その地域を理解している農業委員との連携が重要と考えている。

問……………

米価が暴落し、収入減対策の補填対象農家が大半を占める。高齢化の進行の中、地域に合った集落営農や、担い手、女性の参加を進め活性化を取り戻したいが、その対策は。

答……………

米農家の90%が補填対象である。加工米、飼料米の作付けや流

通、出口部分も見据えて考えたい。地域と話し合いをし、理解を得ることが重要である。

# 牧場の再開と利活用について

問……………

原発事故で中止となった牧場も、除染作業が終了し再開できるものの、畜産農家は高齢化が進み、70歳以上の農家が大半である。これからは粗飼料生産農家と畜産農家が棲み分けし、効率的で余裕のある畜産を進めるべきと思うが、その考えは。

答……………

和牛は平成16年と比較して農家数も飼養頭数も減少しているもの

問……………

の、一戸当たりの頭数は増えており、生産額は耕種農家を上回っている。除染工事は、県を中心に関係機関が一丸となり工事に取り組んでいる。

答……………

壮大なメガソーラー事業は、送電ルートなど疑問点があり見極める必要がある。

原発事故により、国は再生可能エネルギーを国策として推進することになった。遠野市内の牧野組合にも大規模な太陽光発電の計画が示され、関係組合は連携し前向きに検討している。詳細はこれか



集落営農により地域の農業が守られている



# わたしのひとこと



福寄 順子さん  
(上郷町)

(公社) 青年海外協力協会JICAの遠野事務所勤務しています。この4月からは、旧上郷中学校に事務所を移し、これまでの活動に加え、地域住民の方々と協働で「旧中学校を住民が気軽に立ち寄れる場にしよう」と取組みを始めています。

「新生」上郷中学校には是非遊びに来て下さい。

千葉県の新興住宅街で、「郷土・風土」といった言葉とは無縁の環境で育った私にとって遠野は驚くべき場所でした。市内のあちこちで、ハツとするような景色に出会い、しよつちゅうお祭りがあり、地域の結束が強い。そして何より世話やきで温

かい人々ばかり。私は、毎週土曜日に「平倉神楽」の練習にお邪魔していますが、毎回、ドキドキ魅了されます。会の皆さんと賑やかに過ごす時間が一番の楽しみです。

遠野の皆さんには当たり前でも、よその者にはとても貴重に感じるものが遠野には溢れています。

このコーナーは、市民の皆様のみちづくりの夢や希望などを掲載しています。掲載を希望される方は、お気軽に当事務局までお申し出ください。

## とのおの議会だよりクイズ

この議会だよりの中に答えがあるので、最初から最後まで読んでみてください。

《応募方法》クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキやメールでご応募ください。議会だよりを読んだ感想や、議会へのご意見もお書き添えください。ご意見等は、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。応募者の中から、抽選で3名の方にすずらん商品券1,000円分をお贈りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。)

《あて先》〒028-0392 遠野市宮守町下宮守 29-77 遠野市議会事務局 宛  
メールでも応募できます!! gikai@city.tono.iwate.jp

《しめきり》平成26年11月30日(当日消印有効)

○欄に適切な言葉を入れてください。

- その① 平成25年度決算額歳出総額は○億円。
- その② 9月定例会発議案第6号は賛成○人、反対○人の賛成多数で可決。
- その③ 遠野物語の著者柳田國男の生誕地は○町。

～議会だより37号クイズの答え～ その① 17人 2人/その② 6万円/その③ 平成27年10月

## 編集後記

今議会では、放射能汚染対策調査特別委員会から調査の最終報告が行われた。原木しいたけや牧草地の除染作業にはまだまだ課題が残る。また、出来秋を迎えたものの米価下落は農家を直撃、議会でも大きな議論となった。松くい虫被害も拡大の一途であり、その対策が求められる。

さて、今期4年間の議会活動を振り返ると様々な事柄が脳裏をよぎる。課題山積の中、議長を先頭に議会改革等に取組んだが、東日本大震災はあまりにも大きな出来事であり、市民も私たち議員も無我夢中で奔走した。一日も早い復興を願う。

来期からは、議員定数が2名減の18名となる。市民の負託に応え得る議会を再構築し、開かれた議会、市民参加の議会にしていかなければならない。

(瀧澤)

編集後記	
委員長	新田勝見
副委員長	瀧澤 征幸
委員	菊池 由紀夫
委員	佐々木 大三郎
委員	多田 幸一
委員	瀧野 幸一

議会への提言をお待ちしております



環境にやさしい 植物性100%インクを使用しています